

## Learning

### -ラーニング-

南三陸311メモリアルには小さなシアターがあります。

そこで町民たちの証言映像をご覧いただきながら、「もし自分だったらどう行動するか」をまわりの人と語り合いながら考えます。

自然災害を自分ごととして学び合う、南三陸311メモリアルのメインコンテンツです。

## Archive

### -アーカイブ-

南三陸311メモリアルは継続的に、震災から復興にいたる南三陸町の、住民たちの証言や写真・映像といった震災関連資料を収集し、保存します。また、それらの記録を未来に生かしていくために、新たなラーニングプログラムや展示資料を創出します。

## Fieldwork

### -フィールドワーク-

南三陸311メモリアルにはアートを通して東日本大震災の記憶を心の眼で見つめるゾーンがあります。「自然とは、人間とは、生きるとは」に静かに思いを馳せる場です。また、オプションとして南三陸311メモリアルを起点とした町内へのツアーや体験学習にもご参加いただけます。

# INFORMATION

ご予約は Webサイトから

南三陸311メモリアル 🔍 検索



<https://m311m.jp/>

### 料金

2023年6月1日より料金改訂

※料金はすべて税込です

入場料 (有料エリア)	一般・大学生		200円
	小学生・中学生・高校生		100円
ラーニングプログラム体験料 (有料エリア見学含む)	個人	一般・大学生	1,000円
		中学生・高校生	800円
		小学生	500円
	団体	一般・大学生	800円
		中学生・高校生	600円
		小学生	400円

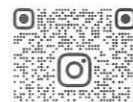
- 10名以上でご利用される場合は、事前の団体予約をお願いしております。
- 入場料の減免制度もございます。詳しくは公式Webサイトをご覧ください。
- ラーニングプログラムの所要時間は60分です。ショートプログラム(30分)もございます。プログラムの詳細は公式Webサイトをご覧ください。
- 自由に入場できる無料エリアもございます。

### アクセス

- 自動車**
  - 仙台駅より三陸自動車道気仙沼方面 志津川ICまで約90分
  - 三陸自動車道 志津川ICより約5分
- 高速バス**
  - 仙台駅前のりば 宮交仙台高速バスセンター40番より乗車 BRT志津川駅まで約1時間40分(1日6本程度運行)
- 公共交通機関**
  - 仙台空港より仙台空港線で仙台駅まで約30分
  - 仙台駅よりBRT志津川駅まで約2時間30分
  - BRT志津川駅隣

### インフォメーション

- 開館時間** | 9:00 ~ 17:00
- 休館日** | 毎週火曜日 年末年始(12/29 ~ 1/3)
- 住所**
  - 〒986-0752
  - 宮城県本吉郡南三陸町志津川
  - 字五日町 200-1
  - (道の駅さんさん南三陸内)
- お問い合わせ** | 一般社団法人 南三陸町観光協会  
0226-28-9215



MINAMISANRIKU311MEMORIAL



南三陸311メモリアルおよび復興祈念公園周辺は東日本大震災津波の浸水区域です。津波注意報や津波警報が発令されたらすぐに志津川小学校などへ避難してください。



南三陸311メモリアルは、東日本大震災から得られた実情と教訓を伝承する震災伝承施設として、震災伝承ネットワーク協議会により登録されています。

南三陸町東日本大震災伝承館

# 南三陸 311メモリアル MINAMISANRIKU 311 Memorial

東日本大震災の経験を共有し  
“自然とは、生きるとは”に  
思いを馳せ語り合う

わたしたちは思い知りました  
津波の恐ろしさを  
命を守り抜く難しさを  
突然の別れの悲しさを  
それでも、あきらめずに立ち上がり  
支え合って生きる喜びを

南三陸 311メモリアルは  
わたしたち南三陸町民の声に耳を傾けていただき  
自然災害の記憶から  
自らと向き合い、語らい、学び合う  
みんなの広場です

海辺の小さな町は  
自然とともに生きることを考える場所  
ここから  
あなたの心の旅を始めてください

感謝と  
生きる喜びに触れる



**みんなの広場**  
私たちが奮い立たせ、生きる力を与えてくれたすべての方への感謝を伝え、南三陸の人々のくじけない心と生きる喜びに触れる空間です。

証言に耳を傾け 語り合い  
自分ごととして考える



**ラーニングシアター**  
自然災害が起こったら大切な命を守れるだろうか？  
自分自身に問いかけます。

### ラーニングプログラム

自分自身のこととして自然災害について学び合う南三陸311メモリアルメインコンテンツです。  
住民の証言映像をご覧ください、「もし自分がそこにいたら、どう考え行動するか」を1分間の対話タイムを通じて考えます。

**プログラム1**  
生死を分けた避難

あの日、生死の分かれ目に直面した住民たちはどのように行動したのでしょうか。もし自分がそこにいたら命を守るためにどう行動するか考えます。

**プログラム2**  
そのとき命が守れるか

南三陸町は指定避難所の多くが津波に襲われました。想定外の事態に見舞われても、命を守るためにはどのように備えればいいのか考えます。

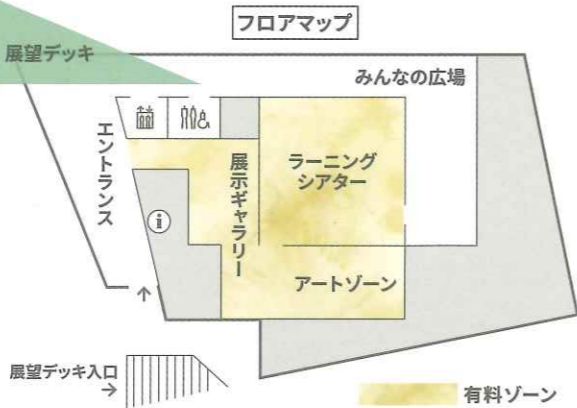
**プログラム3**  
いのちを想う

自然災害で多くを失ってから、南三陸町民は「いのち」について想いをめぐらせてきました。災害時に限らず、人間は何を大切に日々を生きるべきかに思いを馳せ、考えます。

命に思いを馳せる



**展望デッキ**  
防災対策庁舎や志津川湾、復興祈念公園などを眺めながら、あの日に失われた命に思いを馳せ、いのちあることの尊さを見つめます。



命の尊さ  
重さを感じる



**アートゾーン**  
時間と記憶、そしてひとりひとりの失われた人生に静かに思いをめぐらせる空間です。

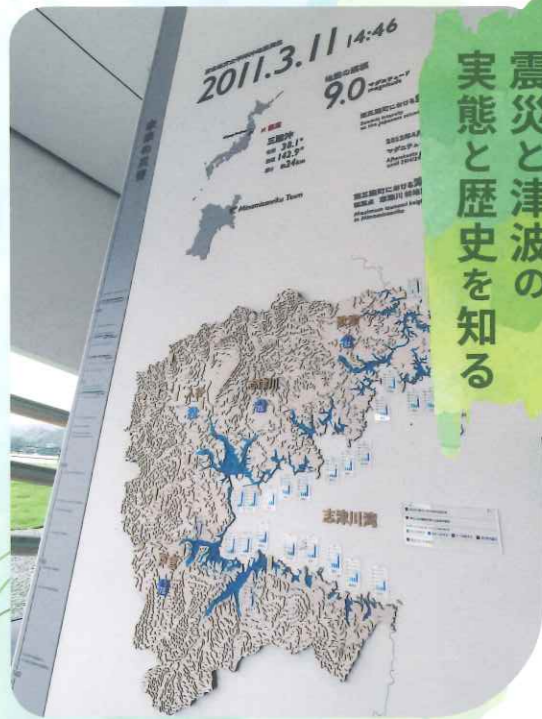
クリスチャン・ボルタンスキー  
1944年フランス・パリ生まれ。現代のフランスを代表する作家として知られる。集団や個人の記憶、存在と不在を作品の主なテーマとして世界各地で作品を発表する。2019年6月、南三陸町から作品制作を依頼した。

町民の証言から  
あの日の現実に出会う



**展示ギャラリー**  
東日本大震災における町民の経験をひも解き、証言映像やエピソードを通じて、あの日の現実に出会えます。

震災と津波の  
実態と歴史を知る



**エントランス**  
地震と津波の歴史を知り、自然と共に生きてきた南三陸町の災害の実態に触れます。